

## 第1回 学び合いの場

日 時：平成 30 年8月7日(火)13:30～16:30

会 場：榛原文化センター3階 大会議室

目 的：① 参加者同士の関係性を築く。

② 自分のことを知り、自分の思いをプロジェクトに繋げる。

参 加 者：榛原高校(28名)/相良高校(4名)/市職員等 (7名)/

株式会社静岡銀行(4名)/島田信用金庫(2名)/榛原総合病院(2名)/

牧之原消防署(1名)/矢崎総業株式会社(3名) 合計 51名

### — 内 容 —

①アイスブレイク・ルール説明

②ワールドカフェ

「自己紹介&対話」× 3回

※テーマ 1回目/2回目 「夏休みの宿題は必要か？」

3回目 「今年夏にやりたいことは？」

③「地域リーダー育成プロジェクト事業」説明

目的・内容・一年間のスケジュールなど

④「自分のことシート」 →項目：得意なこと・好きなこと・大切にしている考えなど

記入 / ペアで共有 / グループで他己紹介

⑤クロージング 「高校生と大人の対話によって何が生まれる？」

### — 今回のポイント —

第1回は、今後、高校生と大人が話合いを円滑に進めていくため、関係づくりを一番の目標とした。そのため、導入としてグループでの話合いのテーマを身近なものに設定し、参加者それぞれができるだけ多くの人と顔を合わせ話ができるよう、ワールドカフェという手法を取り入れた。

また、参加者全員が共通理解を持った上で一年間の事業を進めていくことができるよう、事業の目的や年間スケジュールなど、その意義や方向性を市の担当職員がパワーポイントを用いて説明した。

後半で使用した「自分のことシート」は、自分自身の内側へ問いかけることで自己理解を深めるとともに、他己紹介によって他者への理解に繋げるために活用した。

最後のクロージングでは、次回へ向けてモチベーションを上げるため、グループで今後の展開をイメージした話合いを行った。

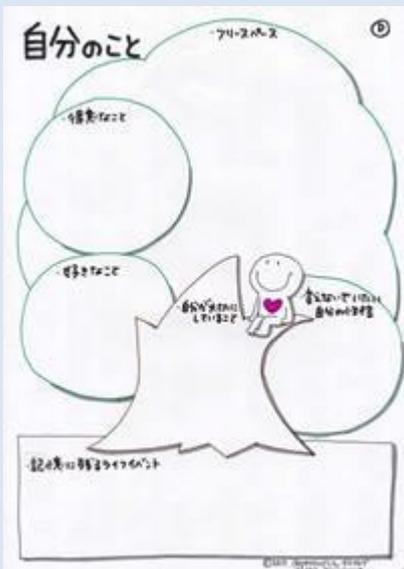
# 第1回のグラフィック



アイスブレイクの様子



ワールドカフェの様子



自分シート



ペアで共有&グループで他己紹介

## 第2回 学び合いの場

日 時:平成 30 年8月 23 日(木)13:30~16:30

会 場:さざんか1階 ふれあいホール

目 的:話し合いの手法を学び、地域(まち)づくりに関する思いや考えを出す。

参 加 者:榛原高校(39名)/相良高校(5名)/市職員等 (19名)/  
株式会社静岡銀行(2名)/島田信用金庫(1名)/榛原総合病院(2名)/  
司法書士佐藤事務所(1名)/ 富士山静岡空港株式会社(2名)/  
牧之原警察署(1名)/牧之原消防署(1名)/矢崎総業株式会社(1名)  
合計 74 名

### — 内 容 —

#### ①「地域リーダー育成プロジェクト事業」高校生と大人の立ち位置 説明

#### ②講 演

講師 一般社団法人サステナビリティ・ダイアログ  
代表理事 牧原 百合江 氏

- ・アイスブレイク/目的説明/今日の流れ/グラウンドルール
- ・ケイオディックパス・プレスパターン
- ・8プレス
- ・OSTの手法
- ・ワークショップ →参加者を2グループに分け、円形にイスを並べて実施

問い:「高校生と大人が対話し協働することでみんながつくってしまいたいまち、そのまちでどんなことが起きていて欲しいですか??」

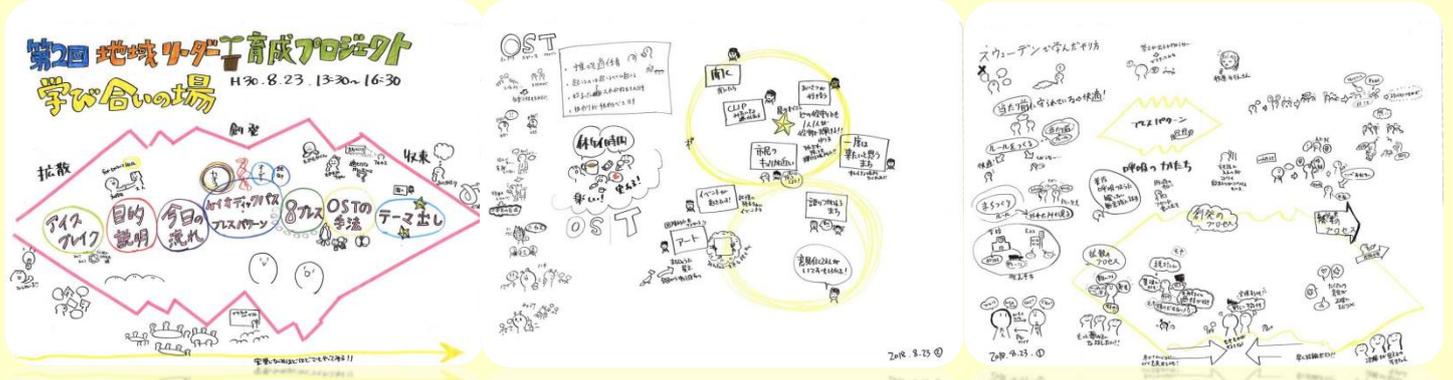
### — 今回のポイント —

第2回は、牧原百合江さんを講師に招き、これから事業を進めていく中で参加者が自分自身の思いや考えを基に主体的に参加し、必要な話し合いを効率的にデザインすることができるよう、OSTの手法を学んだ。

自分の興味・関心のあることを知り、他者との関係づくりを行った前回から、より地域(まち)づくりへの思いや考えを深める方向へ繋げていくため、講演の最終部分では、参加者を2つのグループに分けてワークショップを行った。

地域(まち)づくりについて挙がった内容は、具体的または、抽象的とそれぞれだが、参加者自身から溢れる思いを大切に 24 のテーマが生まれた。※別紙参照

# 第2回のグラフィック



アイスブレイクの様子



牧原 百合江 氏 による講演



発表の様子

ワークの様子



### 第3回 学び合いの場

日 時:平成 30 年9月 25 日(火)17:00~18:30

会 場:牧之原市史料館 2階ホール

目 的:① 前回挙げられた 24 のテーマについて、同じ関心のあるメンバーを 1グループとして、「思い」と「具体的なイメージ」を共有する。  
② ①で話し合った内容を牧之原市の現状と重ね合わせることによって、今後自分達が地域について考えを深めていく上での方向性を意識する。

参 加 者:榛原高校(37 名)/相良高校(9名)/市職員等(14 名)/  
株式会社静岡銀行(1名)/島田信用金庫(2名)/牧之原警察署(1名)/  
富士山静岡空港株式会社(2名)/矢崎総業株式会社(1名) 合計 67 名

#### — 内 容 —

##### ①「第2回学び合いの場」の振り返り

3人組で感想共有 / OST の復習とルール説明

##### ②グループ分け

- ・資料(前回挙げられた 24 テーマ)に目を通す
- ・各自興味のあるテーマ毎にグループ分けを実施

##### ③テーマごとのグループで話し合い&ハーベスティングシート記入

##### ④牧之原市の現状説明

24 のテーマ及び前回のアンケート結果に基づき、それらに関する現状や課題、施策について説明。

##### ⑤現状を踏まえた上で、テーマに対する考えを深める話し合い

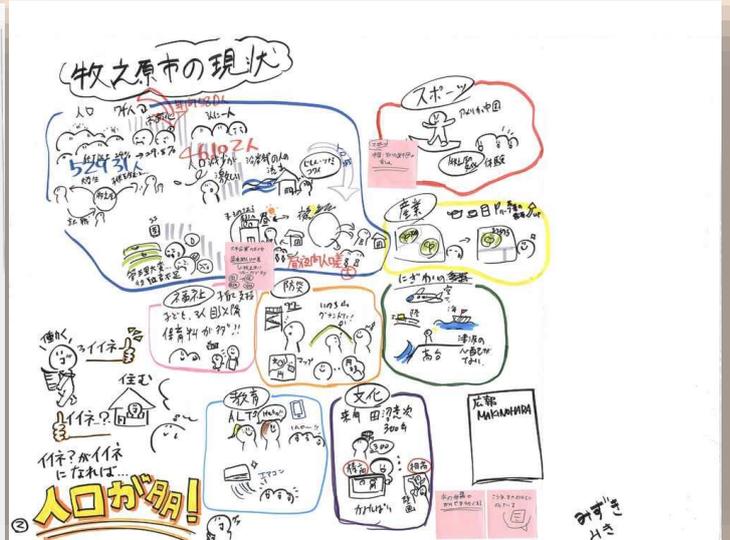
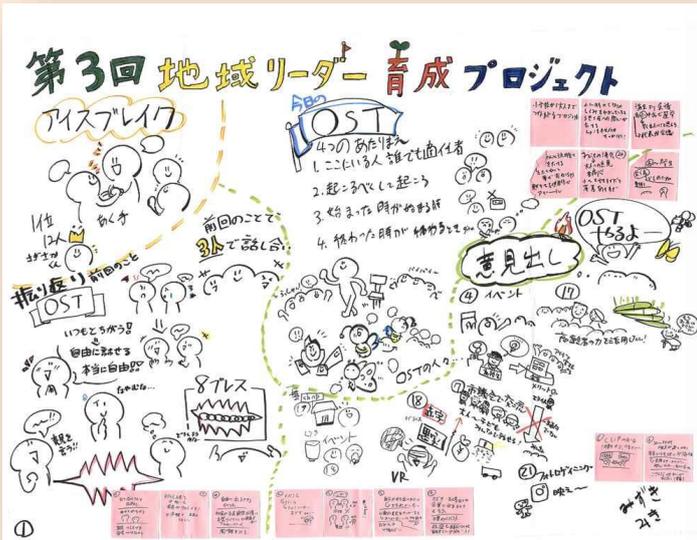
グループ内メンバー同士にて、「気になったワード」や、「現状を知って思ったり考えたりしたこと」、「今後、プロジェクトに繋げていくために必要なこと」などについて共有。

#### — 今回のポイント —

第3回は、前回挙げられた 24 のテーマについて、興味のあるテーマごとに分かれてグループを作り、話し合いを行った。内容は、「どうしてこのテーマを選んだのか?」という思いの部分と、「選んだテーマについて、具体的にどのようなことをイメージしているのか?」という考えの部分の2つについて、ハーベスティングシートに沿って話し合い、まとめた。ここでは、前回誕生した 24 のテーマが 11 のテーマに絞られた。※別紙参照

今回は、実際に参加者が持っている思いや考えを深めると同時に、市の現状・課題・取り組んでいる重要施策について知ることで、今後どのようにプロジェクト化していくのか、参加者自身が方向性を意識することへ繋がった。

## 第3回のグラフィック



## OSTの復習とルール説明



## 話し合い&ハーバースティングシートの記入



## 牧之原市の現状説明

## 第4回 学び合いの場

日 時:平成 30 年 10 月 22 日(火)17:00~18:30

会 場:榛原文化センター3階 大会議室

目 的:①自分取り組みたいプロジェクトの内容を明確にする。

②必要な助け(ひと・もの・場所など)を具体的にする。

参 加 者:榛原高校(36 名)/相良高校(15 名)/市職員等(7名)/

静岡銀行株式会社(3名)/島田信用金庫(2名)/ 牧之原消防署(1名)

富士山静岡空港株式会社(2名)/矢崎総業株式会社(3名) 合計 69 名

### — 内 容 —

#### ①アイスブレイク & 「第 3 回学び合いの場」の振り返り

各グループで、前回作成した「ハーベスティングシート」と、「市の現状説明をまとめたグラフィック」を見ながら振り返り、気づいたこと等をフセンに書き出し。

#### ②本日の流れ説明

- ・前年度(H29 年度)の 16 のプロジェクトの扱い
- ・OSTのルールを踏まえたグループ編成
- ・目標「みんなで話し合いを充実させよう！」

#### ③グループでの話し合い & 「プロジェクトシート」作成

「ハーベスティングシート」の内容をさらに深めるために、「プロジェクトシート」に沿って、イメージするプロジェクトの詳細内容を記入する。

#### ④本日の振り返り

#### ⑤発表

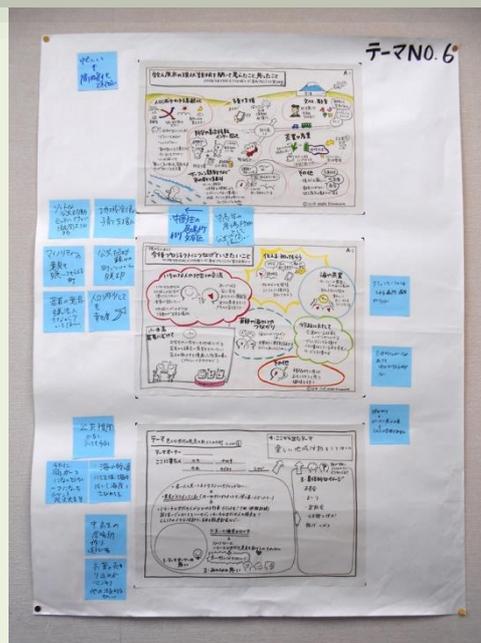
### — 今回のポイント —

第4回は、前回に作成した「ハーベスティングシート」を基に具体的なプロジェクト内容を考えるため、「プロジェクトシート」を用いて話し合いを行った。その際、前年度(H29 年度)の 16 のプロジェクトを提示することで、「イメージとして今年のゴールが見える化すること」と、「前年度のプロジェクトの中で自分達に関連する内容をピックアップし、参考にする」とができるようにした。原則として、プロジェクトの変更は今回までとし、現時点でプロジェクトの方向性を次の3つに絞ることとした。

- ①今年のテーマを深めてプロジェクト化
- ②今年のテーマに前年度のプロジェクトを取り入れてプロジェクト化
- ③前年度のプロジェクトを実行

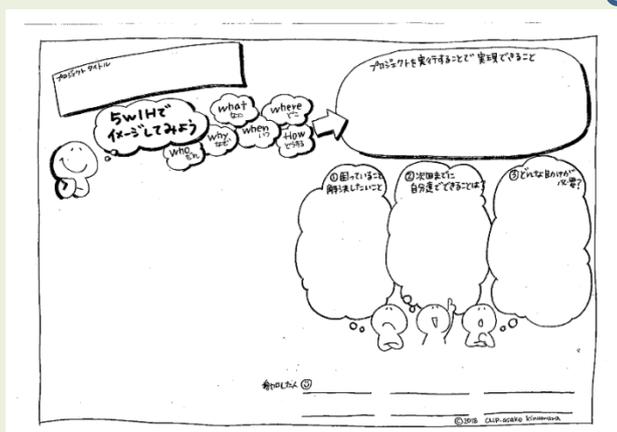
また、今回は話し合いの内容だけでなく、話し合いそのものをみんなで充実させていくことを意識してもらうように事前に説明をした。意図的に参加者へ声掛けを行うことで、各グループでのスムーズな話し合いに繋がった。

### 第4回のグラフィック



### 第3回の振り返りと気づきを共有

### 話し合い&プロジェクトシートの作成



## 第5回 学び合いの場

日 時:平成 30 年 11 月 20 日(火)17:00~18:30

会 場:相良庁舎4階 大会議室

目 的:自分取り組みたいプロジェクトの内容を具体化する。

参 加 者:榛原高校(32 名)/相良高校(8名)/市職員等(7名)/  
島田信用金庫(2名)/ 牧之原消防署(1名)/矢崎総業株式会社(3名)  
合計 53 名

### — 内 容 —

①前回「第4回 学び合いの場」全体の振り返り

②講師:青森中央学院大学准教授 佐藤 淳先生より事例紹介

対話を行動に繋げる事例紹介

「青森県むつ市 ご近所知恵出し会議 2014」

③前回「第4回 学び合いの場」で各グループが作成した「プロジェクトシート」の内容を共有

④実践をイメージしたグループ移動

⑤「様式(模造紙)」の使い方と「本日のゴール」説明

⑥グループワーク実施

- ・自分達のプロジェクトに対して、「疑問点や課題、わからないこと」を書出し&共有。
- ・一つ一つについて、「解決策」を考え、別のフセンに書出し&共有。
- ・解決策を、「自分達で解決できそうなこと」をピックアップし&仕分ける。

⑦発表

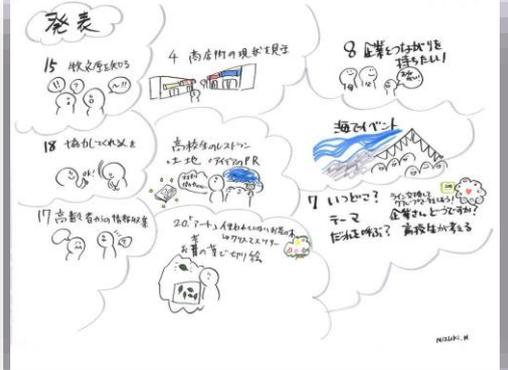
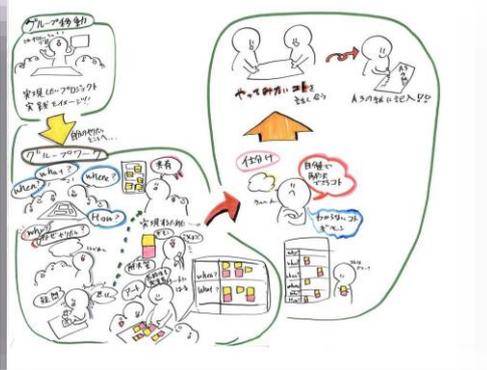
- ・グループごと、「これからまず第一歩としてやること」を発表。

### — 今回のポイント —

第5回は、事業のトータルアドバイザーである佐藤氏から、他地域での先進事例を紹介していただいた。講話後、各グループが前回作成した「プロジェクトシート」を基に、それぞれが「実践」を念頭に置いたグループの移動を行なった。

今回のグループワークは、指定した模造紙の様式に従いながら、一つ一つの作業時間を区切ることで、全グループが具体的にプロジェクト内容を深められるような内容とした。話し合ったプロジェクト内容に対する「自分達ができることの第一歩」として、「これからまず何を一番にやるのか」という部分を今回のまとめとすることで、少しでも「実践(行動)」に繋がることを目指す回となった。

## 第5回のグラフィック



佐藤先生より事例紹介

ワーク&今回のゴールについて説明



グループワークの様子

発表の様子

## 第6回 学び合いの場

日 時:平成 30 年 12 月 21 日(金)14:00~16:30  
会 場:榛原庁舎4階 会議室  
目 的:2 月の発表会までの目標を明確にし、それぞれのペースで話し合いを進める  
参 加 者:榛原高校(27 名)/相良高校(9名)/市職員等(9名)/  
静岡銀行株式会社(2名)/ 富士山静岡空港株式会社(2名)/矢崎総業  
株式会社(2名)/牧之原市商工会(1名)社会福祉協議会(2名)  
合計 54 名

### — 内 容 —

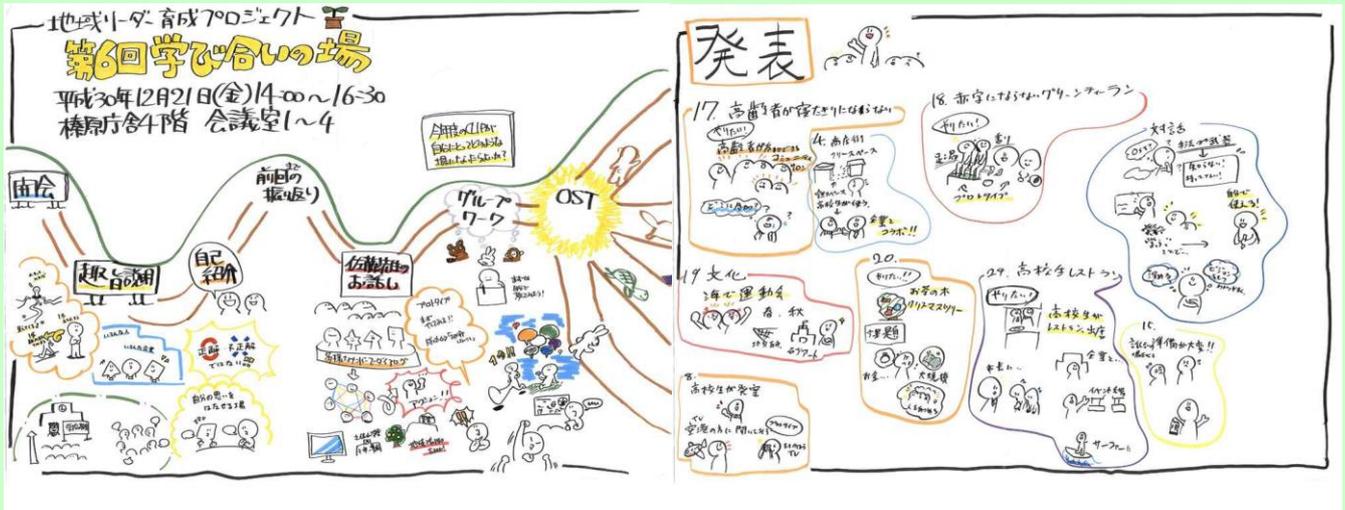
- ①本日の趣旨説明  
(これまでの「学び合いの場」の振り返り / 2 月発表会までのスケジュールイメージ説明)
- ②自己紹介
- ③前回「第 5 回 学び合いの場」の振り返り
- ④講師:青森中央学院大学准教授 佐藤 淳先生より事例紹介  
対話を行動に繋げる「プロトタイプ」について  
テレビ朝日「ナニコレ珍百景」2018.12.9 放送「高知市立義務教育学校土佐山学舎」
- ⑤グループワーク1  
個人で「今年度の地域リーダー育成プロジェクトをどうしたいか?」について考え、発表。
- ⑥本日の流れ説明 / 移動
- ⑦グループワーク2  
各プロジェクトに関係するアドバイザーを招き、専門家の意見を取り入れた話し合い、発表

### 今回のポイント

第6回は、事業のトータルアドバイザーである佐藤氏から、「対話」を「行動」に繋げるための「プロトタイプ」についてお話をしていただいた。物事の実現に向けて、早い段階での失敗はリスクが少ないということから、高校生が考えているプロジェクトを「自己成長」や「地域活性化」の第一歩へ繋げることができるよう、意識を変える内容であった。

後半のグループワークでは、高校生が自分達のテーマに関する現状を知ることや、疑問に思っていることを確認し、アドバイス等を受けられるよう、各プロジェクトに関係するアドバイザーに入っていたいただいた。専門の立場から話し合いに参加してもらうことで、前回よりも、「それぞれが考える第一歩」を踏み出すために具体的な話し合いを行うことができた。

## 第6回のグラフィック



2月の発表会までの  
スケジュールイメージ

グループワークの様子



OSTの様子

発表の様子

## 第7回 学び合いの場

日 時:平成 31 年1月 23 日(水)17:00~18:30

会 場:牧之原市史料館 2階ホール

目 的:2月の活動報告会をイメージし、各グループや個人で、今年度のまとめや振返り段階に入る。

参 加 者:榛原高校(27名)/相良高校(8名)/市職員等(4名)/  
静岡銀行株式会社(1名)/島田信用金庫(1名)/ 牧之原消防署(1名)  
矢崎総業株式会社(2名) 合計 44 名

### — 内 容 —

#### ① 2月の活動報告会に向けたプロジェクトグループごとの話し合い

- ・活動報告会のスケジュール説明
- ・プレゼン方法紹介(模造紙/パワポ/紙芝居/劇など…)
- ・必要備品確認

#### ②グラフィックを使った今年度全体の振り返り

#### ③ワークショップ

問い:「この場を重ねることでどんなことが生まれましたか？」

個人での振り返り → グループでの共有 → 移動(ワールドカフェ方式) → 共有

#### ④発表

A4用紙に個人の考え・思いを記入し、3つのグループに分かれ円形で全員が発表

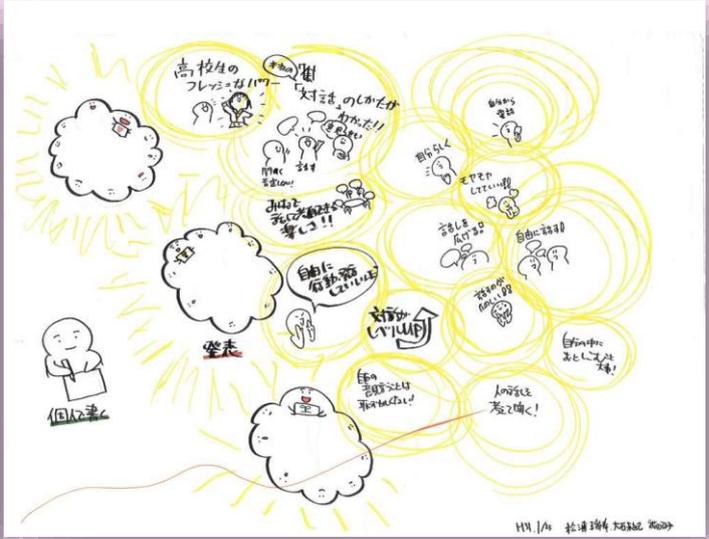
### 今回のポイント

第7回は、2月16日の活動報告会の流れをイメージした後、グループごと発表に向けた話し合いを行った。限られた時間の中でプレゼン方法や必要な備品の確認など、当日の午前中に行う発表準備のための計画を立てることができた。

今回は、「学び合いの場」の最終回ということで、「第1回 学び合いの場」で実施したワークショップの問いを再度用いて、一年間の個人の振り返りを行った。①個人で考え、②同じプロジェクトグループのメンバーで共有し、③別のグループメンバーと共有することで、様々な人の意見を聞いてしっかりと自分自身の一年間の変化を振り返る機会を設けた。

最後の発表では、参加者を3つに分け、円形になって全員が発表を行った。同じ参加者のそれぞれの思いや考えを聞くことで自分自身との違いに気づくことや、自分の言葉で相手に思いや考えを伝えることを意識して一年間のまとめを行うことができた。

## 第1回のグラフィック



## プロジェクトグループごとの話し合いの様子



## グラフィックによる今年度全体の振り返り



## ワークショップの様子

## 発表の様子